

国際ロータリー第2730地区

高鍋ロータリークラブ 会報



会長 坂田 師通
副会長 青木 善明
幹事 橋口 清和
例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋 1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第2059回 平成31年3月7日プログラム

- | | |
|--------------------------|--------------|
| 1. 点 鐘 | 7. 月初めのセレモニー |
| 2. ロータリーソング
君が代・奉仕の理想 | 8. BOX披露 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 委員会報告 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | 12. |

高鍋ロータリークラブテーマ

『ロータリーの心を地域の人に届けよう』

第2730地区ガバナー 川原 篤雄
中部分区ガバナー補佐 安田 秀一
RI テーマ 『インスピレーションになろう』
地区テーマ 『プラスワンの考動を』
3月の月間テーマ
水と衛生月間

本日の例会案内

- *月初めのセレモニー
- *米山ランチBOX
- *雑誌紹介
- *会員卓話—長濱博君
- *例会終了後理事会開催

次週例会案内; 3月14日 (2060回)

- *血圧測定・100万円BOX
- *外部卓話—高鍋農業高校校長 萩原浩二様
- *例会終了後プログラム委員会開催

第2058回 例会内容 (2/28)

■会長の時間

会長 坂田 師通 君

皆様は、マレーネ・ディー・トリッヒが歌った「リリー・マルレーン」という歌をご存知のことと思います。作詞はハンス・ライプという詩人ですが、彼は第一次世界大戦の最中、ハンブルグで教師をしていた時に、ドイツ軍に招集され、ロシアと対峙する東部戦線に出征しました。



当時、彼にはリリーと言う名の食品店勤務の恋人がおり、1915年、彼は戦地に出兵する前に一篇の詩したためており、この詩は「港の小さなオルゴール」と言う詩集の中に収められておりました。

1938年にドイツの作曲家ノルベルト・シュルツが曲をつけ、「リリー・マルレーン」と言う曲が誕生しました。この歌と運命的な出会いをしたのが25歳の無名歌手ララ・アンデルセンであり、第二次世界大戦が開戦した1939年にドイツ国内で700枚のリリースがあり売れたのは60枚だけであったそうです。売れ残ったレコードを販売店の店員がドイツ軍の前線慰問用レコードに紛れ込ませたことによって「リリー・マルレーン」

は放送などで時々かけられるようになったとのことです。戦火の下、ドイツが占領したベオグラード放送から流れるこの歌に、ドイツ兵だけでなくイギリス兵をはじめ連合国側の兵士たちが耳を傾けるようになりました。ナチスドイツは「歌詞が士気に悪影響をもたらす」として放送を禁止し、イギリス軍も、この歌を聴くことや口ずさむことを禁止したそうではありますが、この歌の人気は衰えず“21時57分にはベオグラード放送にダイヤルを”を合言葉に、この歌は国を超えて愛唱されることとなります。ドイツ軍の将軍であったエルヴィン・ロンメルは、こんな言葉を残しています。

『たとえ命令違反になっても、我々は敵軍のラジオ放送を聞いていた。当時、敵軍の放送を聞いているのは我々だけではなかった。イギリス第8軍の捕虜の話によれば、イギリス兵士もまた、ドイツ軍の放送を聞いていた。特にベオグラードから放送される“リリー・マルレーン”は彼らのお気に入りだった。そのセンチメンタルなメロディーは、我々戦う両軍のあらゆる人達に、この世には爆弾や砂漠以外にたくさんものがあることを今さらのように思い出させてくれた』

また、ララの自伝「リリー・マルレーン」の翻訳者である辻優子氏は、こう書いておられます。

『行進曲としては使い物にならないこのララの歌が、ベオグラード放送のプログラムの最後に、アフリカの砂漠にひびきわたると、両軍の武器はともに鳴りをひそめ、

数分間戦争は忘れられて、敵も味方もひとしく故郷のことを夢見たのであった。そんな戦地の状況を知る由もなく、ララの友人の音楽家たちにユダヤ人が多くいたこともあり、彼女はナチスから歌手活動を禁じられ、一時的に自殺未遂を行ったこともありました。その後、歌手活動の再開は許可されたものの「リリー・マルレーン」を歌うことは許されませんでした。一方、ナチス政権を嫌い、ドイツを離れてアメリカの市民権を得ていたベルリン出身のマレーネ・ディートリッヒが連合軍兵士を慰問した際に「リリー・マルレーン」を歌ったことにより、アメリカでも愛唱されることになりました。ララは第二次世界大戦の終戦直前に歌手を引退し北海に浮かぶ東フリースラント諸島のランゲオーク島に移住して1949年にスイス人作曲家と再婚しています。1960年代には、歌手活動を再開させ、ヨーロッパ、アメリカ、カナダとコンサートツアーを行い1970年になるとテレビ番組にも多数出演して活躍しております。1972年に自伝がベストセラーになりましたが、8月29日にウィーンで亡くなっています。「リリー・マルレーン」は朝鮮戦争やベトナム戦争中にも、戦場の兵士たちに、そして各国の人々に反戦歌として歌い継がれました。今月は、平和と紛争予防/紛争解決月間であります。「リリー・マルレーン」のような歌が歌われることによって、紛争が解決できる可能性もあるかもしれません。

■幹事報告<文書案内>

- *ガバナー事務所より職業奉仕セミナー登録料の振込のお願い (1クラブ2,000円)
- *高鍋西中学校3年生の「面接指導」についてお礼
- *児湯準看護学校入学式案内
日時 平成31年4月9日(火)
場所 児湯準看護学校
- *第28回「石井十次賞」贈呈式
及び第37回石井十次生誕記念式典開催ご案内
日時 平成31年4月10日 13:30~16:00
場所 たかしんホール

幹事 橋口 清和 君



■新会員卓話

父・正夫を退会と同時に名誉会員としていただいたことに感謝いたします。そのような父を思いますと私のロータリー活動はその名を汚さぬよう、数年はおとなしくしておかなければならないのではないかと思うほどです。

関歯科医院は私の曾祖父がまだ歯科医師免許の存在しない時代に、歯抜き・入れ歯・薬調合を習い、それを高鍋で始めたことが起源です。そののち祖父・叔父・父へと引き継いでまいりました。私は幼少から高鍋で育ち、高鍋高校卒業後、大学時代を長崎で過ごしました。卒業後の勤務は、長崎県波佐見町・佐賀県太

関 康仁 君



良町・同武雄市で合計9年間でした。帰郷後は父とは別で理想の治療を行うため現在の関歯科診療所を平成17年5月に開業しています。

帰郷した当時は高鍋町の変化に大変驚きました。驚きと同時にこの町でどのように生きていこうかと思案しておりましたところ、地元消防団第4部に入団させていただきました。当時の部長が曾我部幸夫君でした。それがきっかけで町となじむことが出来たと感謝しています。

また高鍋SSグループ、商工会議所青年部にも入会させていただき、いずれも会長を務めさせていただきました。現在はまだ消防団にはおりますが、歯科医師会活動を忙しくさせていただいています。そのために今後ロータリー活動にご迷惑をおかけするかもしれません。

最後に私の日課をご紹介します。毎朝起床後にもみそぎを行っています。心身の鍛錬と正確な判断力を身に着けるため、水で清めます。寒い冬も欠かさず行います。かれこれ13年です。皆さんもいかがでしょうか。やってみると意外に気持ちが良いです。

いずれまたこの卓話が廻ってくると思いますが、次回はしっかりと準備して臨みたいと思います。



本日のゲスト
吉田憲市様



親睦活動委員長
長谷川修身君

■BOX披露 親睦活動委員長 長谷川 修身 君 <ニコニコ・財団・米山BOX>

【坂田師通君】吉田憲市様ようこそ高鍋ロータリークラブへ。入会をお待ちしています。関君卓話をよろしくお願ひします。

【橋口清和君】ロータリーデーを欠席しました。大変申し訳ございません。来週再来週と例会を2週続けて欠席します。野添副幹事よろしくお願ひ致します。ゲストの吉田憲市様よろしくお願ひ致します。

【長濱博君】今日は新富町から吉田憲市様をご案内いたしました。会員になって下さると願っております。

■出席報告

出席委員 向山 健一 君

(2/21)

正会員総数	43名
出席会員数	29名
ホーム出席率	69.05%
修正出席率	83.33%

